

西小学校通学路及び遊び場所の危険箇所に対する改善要望回答

【鹿塩地区】

No.1	場所：	鹿塩口の用水路
	状況：	・大雨が降ると用水路から水があふれる。数日、泥が残る。
	要望：	・排水路の整備
	【回答】	当該箇所は、県道美濃川辺線であるため県へ現地確認及び修繕をお願いしました。

No.2	場所：	いぼ井戸からの川向こうの山側の道（旧道）
	状況：	・人の目が届かない山に沿っており、がけ崩れや石、木の枝が落ちていたりして危険である。 ・木を切った場所に岩が露出している。（崩れ落ちてこないか）
	要望：	・石や土砂の崩れのチェック。歩道の整備をしてほしい。 ・石の落下防止。
	【回答】	昨年と同様の回答となりますが、本路線は川辺町が管理する町道流レ線ですが、これに並行する主要地方道美濃川辺線区間には歩道が整備されていません。通学時の交通安全を考慮し山沿いの町道を通学路として指定されたものと思われませんが、本路線は人目に付きにくく倒木や落石などの危険性が潜んでいることは否定できません。 見守り隊によるサポートが行われておりますが、併せて危険箇所の日常点検にご協力いただき、異常が発見された場合は、役場（基盤整備課）までご一報くださるようお願いいたします。 なお、不用木の除去については、昨年度産業環境課にて行いました。

No.3	場所：	旧道入り口から大谷公園入口までの道
	状況：	・雨の日など、水がたまりやすく、山側から小石など落ちてくる。歩道が無く、道幅も狭いため、子どもたちの近くを大型車やスピードを出す車が通る。 ・見通しが悪い。 ・歩道の幅が狭く、自動車との接触事故の発生する危険性が高い。
	要望：	・カラーで分かりやすくなったとは思いますが、カーブで見通しが悪い場所もあり、車が近くを通るのが怖い。できれば、歩道の整備が欲しい。石の崩れを防ぐようにしてほしい。 ・片側1車線へと道幅を広げるとともに、歩道の幅を広げるよう、改善を要望。 ・子どもの通学に町のコミュニティバスを使用できないか？
	【回答】	美濃川辺線の未改良区間の拡幅改良については、町及び議会はもとより沿線市町で構成する同盟会からも毎年継続して要望してきた結果、本年度より事業化されることになりました。 本年度は、大谷公園上流部の狭隘箇所における橋りょうの予備設計や地質調査業務が発注されており、今後事業が進んでいくものと期待しております。 早期着工に向け引き続き県に要望していきます。

【中川辺地区】

No.4	場所：	大北公民館からバイパスに向かって橋を越えた所
	状況：	・下校時、橋を越えてから道路を横断する子どもが数人いるが、横断歩道がないためか、子どもはいろいろな場所で道路を横断する。交通事故が心配される。
	要望：	・横断歩道の設置
	【回答】	当該箇所はH27年度にも同様な要望が提出されました。その際、警察の意見としては、近くに信号交差点があるため横断歩道の設置はできないとのことでした。引き続き通学指導の中で、信号交差点で安全に横断していただくよう指導をお願いします。

西小学校通学路及び遊び場所の危険箇所に対する改善要望回答

【中川辺地区】

No.5	場所：	第一加治田踏切とそこにつながる通学路
	状況：	・踏切の幅が狭い、歩行者と車が接触しかねない。
	要望：	・踏切の幅の拡張。 ・道幅の拡張か歩道の確保
	【回答】	当該踏切は、現場の状況から踏切を拡張することは困難です。 路面着色等により踏切内も歩行者の安全が図られるよう県に要望していきます。 引き続き児童・生徒への通学指導をお願いします。

No.6	場所：	県道わき（駅から北へ向かう通学路）
	状況：	・県道を走る車から、通学する児童が認識しにくい。
	要望：	・通学路の標識設置
	【回答】	通学路標識の設置を検討します。

No.7	場所：	県道横断歩道（押しボタン信号）
	状況：	・信号無視してしまう車があり危険。登校時は交通量も多い。
	要望：	・常時黄色の点滅をなしにする。（常時：青）
	【回答】	警察に要望書を提出します。（警察署との事前協議では、信号の基板の更新があるため要望を聞き入れてもらえたとしても時間を要するとのことです。） 安全に横断できるよう、引き続きの通学指導及び見守りをよろしく申し上げます。

No.8	場所：	山川橋の道に並行してある通学路
	状況：	・草が生い茂り、虫やヘビが出る。
	要望：	・草を刈ってほしい。
	【回答】	川辺町全体でこのような場所は数多くあり、道路法面や路肩除草については地元の皆様のご協力をいただき草刈りをお願いしているのが現状です。町の予算にも限りがあるため、当該箇所も地元のみなさまによる草刈りのご協力をお願いします。

No.9	場所：	下町公民館近く
	状況：	・道幅が狭い。 ・車の交通量が多い。グリーンラインはあるが道幅が狭く危険。スピードもだす。 ・運転手から見て、子どもが渡る横断歩道がわかりにくい。
	要望：	・ガードレール設置等をして歩行者（歩道）と車（車道）の区別をする。 ・飛び出し注意の看板設置。
	【回答】	ガードレール等で歩道と車道を分離することは、道幅が狭く車両のすれ違いができなくなるためできません。引き続き道路へ飛び出さないよう指導をお願いします。

【西栃井地区】

No.10	場所：	禪原寺近くの旧道
	状況：	・通学路のグリーンライン中央に標識が設置してある。子どもがそこをとおるとき、車道にふくらむことがあり危険。
	要望：	・標識の撤去。
	【回答】	この道路標識は、ドライバーに対しこの先にカーブがあることを示す看板で警察からの意見により設置しています。看板以外での注意喚起方法を警察へ相談します。引き続き車道にふくらまないよう通学指導をよろしく申し上げます。

No.12	場所：	雌鳥川付近
	状況：	・車の有無にかかわらず、川への落下が心配される。
	要望：	・フェンスの設置。
	【回答】	昨年と同様の回答になりますが、柵設置の必要性は十分認識しており、限られた予算の中で民家等の建ち並び箇所を優先し順次設置を進めているところです。危険な箇所には近寄らないようご指導をお願いします。

西小学校通学路及び遊び場所の危険箇所に対する改善要望回答

【下川辺地区】

No.13	場所：	鈴木酒店周辺
	状況：	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道がカーブしており、草木が伸びると横断歩道を渡っている子どもを目視できない。朝はスピードを出す車が多く、ここを横断する人がいることを認識していないドライバーが多いと思われる。 ・ 旧道から県道へ出る高校生や車は左はしをとおる。通学する子どもは右側通行なので、見通しが悪いと、子どもと正面衝突してしまうのではないかとと思われる
	要望：	・ 安全喚起の標識
	【回答】	注意喚起として安全旗の設置を依頼します。